

製品名: SNAI 1 (リン酸化 Ser246) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05454**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	SNAI1
別名	SNAI1; SNAH; Zinc finger protein SNAI1; Protein snail homolog 1; Protein sna
遺伝子 ID	6615.0
SwissProt ID	O95863
免疫原	抗血清は、Ser246 のリン酸化部位周辺のヒト SNAI1 由来の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 215-264

背景

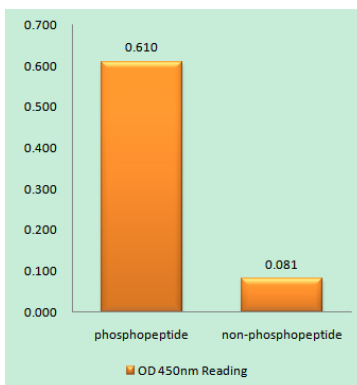
snail ファミリー転写抑制因子 1 (SNAI1) ホモ・サピエンス ショウジョウバエ胚性タンパク質 snail は、中胚葉における外胚葉遺伝

子の発現を抑制するジンクフィンガー転写抑制因子です。この遺伝子によってコードされる核タンパク質は、ショウジョウバエ snail タンパク質と構造的に類似しており、発生中の胚における中胚葉形成に重要であると考えられています。類似したプロセスを受けた擬似遺伝子の少なくとも2つのバリエントが2番染色体上に見つかっています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 胚中胚葉形成に関与していると考えられます。E-カドヘリン遺伝子プロモーターの3つのEボックスに結合し、その転写を抑制します。類似性:カタツムリ C2H2型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。類似性:4つのC2H2型ジンクフィンガーを含みます。組織特異性:さまざまな組織で発現し、腎臓で最も高く発現します。、

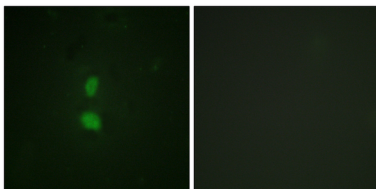
研究分野

接着ジャンクション;

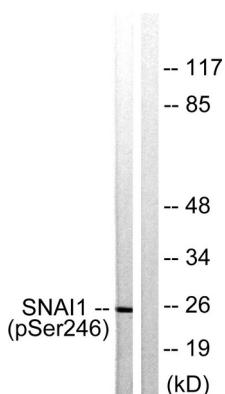
画像データ



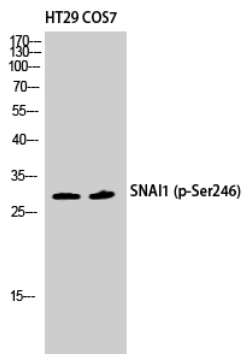
SNAI1 (リン酸化 Ser246) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



SNAI1 (リン酸化 Ser246) 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



SNAI1 (リン酸化 Ser246) 抗体を用いた HT29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンにはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した Phospho-SNAI 1 (S246) ポリクローナル抗体を使用した HT29 COS7 細胞のウエスタンブロット解析。